

平成26年度第2回 奈良県後発医薬品安心使用促進協議会

◇日時

平成27年2月13日(金) 14時00分から16時00分まで

◇場所

奈良市登大路町38番地1
奈良県中小企業会館 4階 小会議室

◇出席者

協議会委員:武知会長、青山委員、穴吹委員、神田委員、喜多委員、米田委員、竹村委員、
谷口委員、谷本委員、中西委員、森田委員、山崎委員
事務局:薬務課 谷課長、尾家係長、村上主査
関係課:保険指導課 藤田主幹、病院マネジメント課 今中主査

◇議事

- ・議題1:「県民向け啓発ポスターの作成について」
- ・議題2:「県内汎用後発医薬品の溶出試験の結果について」
- ・議題3:「次年度の取り組みについて」

◇公開・非公開の別

公開(傍聴者1名)

◇議事概要

議題1 県民向け啓発ポスターの作成について

(1)事務局の説明の概要

前回9月の協議会において事務局よりポスター案を示したが、タイトルや内容について、もっと踏み込んだものを作成できないかとの意見が出た。「ジェネリック医薬品を使用していますか?」「国民皆保険制度を維持するために、ジェネリック医薬品を使用しましょう」のタイトルを付すことになり、再度事務局にて案を作成した。

県内病院、薬局、市町村、保健センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、保健所に配布する予定。

(2)議事の概要

レイアウト等軽微な修正を経て、承認された。配布先についても承認された。

議題2 県内汎用後発医薬品の溶出試験の結果について

(1)事務局の説明の概要

ロキソプロフェンナトリウム錠の溶出試験を奈良県薬事研究センターに依頼。日本薬局方に規定されている試験方法に基づき試験を実施したところ、結果は先発医薬品、ジェネリック医薬品共にすべて適であった。結果については、本協議会の委員の所属する団体への通知、および薬務課ホームページで公表する。平成26年度「奈良県後発医薬品溶出試験」検査結果報告書(案)を作成したので、承認いただきたい。

(2)議事の概要

平成26年度「奈良県後発医薬品溶出試験」検査結果報告書(案)について承認された。

議題3 次年度の取り組みについて

(1) 事務局の説明の概要

事前に委員に対して、次年度の事業について意見を募ったところ、「医療従事者、県民を対象とした講習会の開催」が多かった。来年度は講習会又は講演会を開催したい。講演の対象者、講演内容、講師、開催時期、開催の曜日等について意見をいただきたい。

(2) 議事の概要

委員:医療従事者対象が良いと思う。患者は医療者側の思いに引っ張られる傾向がある。患者がジェネリック医薬品を希望しても、処方する医師、調剤する薬剤師が本当にジェネリック医薬品を信用していなければ、その思いは患者に移ってしまう。

委員:病院の医師に聞いてもらわないといけないのは事実だが、大手メーカーは大学病院や病院の医師に対して勉強会を週3~4回ペースで行っている。講習会を実施しても忙しくて参加してもらえないと思う。医学部の学生のうちに理解してもらうのもいいかもしれない。

委員:過去2回の講演会は薬剤師対象。県薬剤師会から会員へ案内した経緯がある。当時は国策でジェネリック医薬品の使用にプレッシャーをかけられた中での受講だったが、ジェネリック医薬品が普及した今、参加者はそれほど見込めないと思う。講演の内容は吟味の必要がある。患者ニーズ、現状、問題提起等なら勉強になる。

委員:県民向け講習会は集客できるかどうかの問題がある。現在、薬務課が県政出前トークでジェネリック医薬品の講習会を行っている。小さな集会の方が県民も意見を出しやすいと思う。

委員:病院では薬事委員会等で採用医薬品を決める。品質、安定供給、適応症等の情報を集める必要があるが、ジェネリック医薬品は臨床データがないので困っている。病院の薬剤師が興味あるのは、そこだと思う。

委員:平成20年度に協議会でアンケートを実施したが、その内容は「ジェネリック医薬品を使っていますか?」であった。「ジェネリック医薬品を使った結果どうですか?」という内容で、もう一度アンケートを採るのもおもしろい。その結果、色々な問題が出れば、出前トークであろうと、医療従事者向け講習会であろうと、反映できる。

委員:医師、薬剤師、県民等色々な立場の人に参加してもらって、パネルディスカッションをしてもよいかもしれない。

会長:まずは、アンケートを採ることで賛同していただけるか。

委員:賛同。

事務局で、医師、薬剤師、県民対象のアンケート案を作成することとなった。